

観葉植物の商品説明書

商品の特徴 : 自然の縮図を根付きの植物で表現した商品が「葉胡道」(ハコドウ)です。

鉢が到着したら : 商品は生きていますので箱からすぐに出してあげてください。箱から取り出す際は、まず商品に挿している転倒防止用の支柱をそっと引き抜き、商品を箱にぶつけない様、静かに取り出してください。

育て方のポイント : 植物は言葉を語りませんが、葉色や樹姿で状態を教えてください。
元気なときは、葉色は艶々としパリッとしています。逆に元気が無いときは、葉色もくすみ葉もしんなりしています。
生きていますので是非、愛情を持って接してあげてください。

* 図1を参照

置き場所 : 春☐ : 3月~6月、レース越しの薄日が半日位当たる場所が最適です。

夏■ : 7~9月、室内の風通しを良くし、戸外の場合は50%遮光したところに置き半日くらいは日光の当たる場所(直射日光は駄目です)を選んでください。また戸外に出せる時期は最低温度が15℃以上になってからです。

秋◇ : 10~11月、日光の強さが弱まり日照時間も日増しに短くなりますからレース越しの光はやめにし、ガラス越しの日光に当ててください。

冬◆ : 12月~2月、室内の暖かい所に置いてください。日中はガラス越しの日光が半日くらい当たる所が良いです。夜間は少しでも最低温度(10℃以上)の高いところに置くようにして下さい。

* 図1を参照

水やり : 春☐ : 3~6月、(目安は1週間に1回)植え込み材料(水苔)の表面が乾いたらコップ一杯(約150cc)程度をそれぞれの株元に分け与えて下さい。

夏■ : 7~9月、(目安は3日~4日に1回)気温が高くなり急に成長を始め鉢内は急に乾いてきますので乾いたら与えると言う原則に従って下さい。また気温が30度を超える場合は霧吹き等で直接、葉に霧水を与えてあげても良いです。

秋◇ : 10~11月、(目安は1週間1回)植え込み材料の表面が乾いてきてから与える様にし、出来るだけ午前中に行ってください。

冬◆：12月～2月（目安は2週間に1回）乾かし気味にする方が植物を弱らせず冬越しできます。苔の表面が乾いて3～4日程たってから水を与えてください。（低温越冬は植物が休眠しているため水をあまり吸いませぬ）

肥料：6月～9月の間は市販の観葉植物用液状液肥をホームセンター等でご購入の上、与えて下さい。この期間中に液状液肥が無くなった場合は、再度ご購入の上、与えてください。

その他の時期は、マグアンプ（固形置肥）を2粒ほど乗せてあげてもよいです。

切り花挿しポリキャップ入り商品について

寄植えの根本に切り花挿し用ポリキャップが入っている商品は、ポリキャップに水を入れて頂き、お客様で季節毎の切り花を挿してお楽しみ頂けます。ポリキャップは簡単に取り外せますので、汚れてきた場合などは洗浄して再度入れ込みお使い下さい。

* 図 1

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
置き場所・日当たり	◆	◆	□	□	□	□	■	■	■	◇	◇	◆
水やり	◆	◆	□	□	□	□	■	■	■	◇	◇	◆
肥料	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×

置き場所・日当たり・水やり

春参照	□
夏参照	■
秋参照	◇
冬参照	◆

肥料

適している	○
適していない	×



ビニール袋
エアーマット



栽培説明書

ご注意：開封後のパッケージ処理について

この商品の梱包資材は、お住まいの地域の指示に従って処理をお願い致します。